

※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第3号）

企業・団体名（ 中部物産貿易株式会社 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・あらゆる雇用条件で差別のない社内環境を構築・整備している。 ・体制・運用面ともトップが積極的に関与している。 ・社内では基本的にさん付けで呼び合い、お互いに相手を尊重している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメントの禁止を就業規則に明記している。 ・職場内で相談し易い雰囲気作りに努めている。 ・定期的に社内研修を開催し、周知している。 ・相手にハラスメントと受け取られることの無いようにしている。 ・社内に窓口を設置。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・36協定等の労働基準法を遵守し、これら社内研修を通して内容を共有している。 ・勤怠管理システムを導入し労働時間や休暇取得状況を可視化、管理者が労働生産性の改善に努めている。 ・営業の直行・直帰推進等のほか、減らせる仕事の見直しを進めている。 ・全体の労働時間短縮・業務効率化のための「手伝いましょうか。」の声掛けが出来ている。 ・残業時間の減少の為に業務見直し等の取り組みをさらに進める。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・現在外国人労働者の採用はない。将来の採用を想定し、研究も進めている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・安全運転管理者を設置し、交通事故防止を徹底している。 ・毒物劇物取扱責任者が法令を遵守し、毒物劇物を取り扱っている。 ・事故防止のため、倉庫内作業の危険個所を把握している。 ・倉庫作業員の安全確保のための保護具を、各自に用意している。 ・社員の健康維持のため、健康診断を年1回実施している。また、感染症対策で社内での、空気清浄機、加湿器など、社内の環境を整える取組を行っている ・アルコール検知器による運転前点検の実施。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・希望者の相談に対応できる体制を構築している。 ・相談し易い環境作りに努めている。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・女性管理職の登用中。 ・産休育休取得実績100%である。 ・60歳定年後、65歳までの高齢者再雇用 ・シニア社員就業規則を定め、65歳以上の雇用対応又は障がい者の雇用対応を実施している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・職務や役割に応じた研修を定期的に行っている。 ・社員が必要とするセミナー・ビジネス研修や勉強会（メーカー主催）への参加を会社としてサポートしている。 ・資格取得支援制度があり、費用は全額会社負担で補助している。 ・人事面では適材適所への部署異動を実施している				4	5.5			8	9								

9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・労働関連法規制を遵守している。 ・平成30年度に新賃金体系に移行。人事評価制度、同一労働同一賃金の原則に沿った体制の整備、パート、アルバイトの賃金体系を構築している。 ・目標管理シートの活用、賃金システムの改善により対応している。				5.5		8.5	10.2 10.3										
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・年1回の定期健康診断を実施し、必要に応じ有所見者のフォローも実施している。 ・トップが社員の健康管理を継続的に関与している。 ・インフルエンザ予防接種費用を補助している。 ・物流部員の熱中症対策で空調服や飲料水を準備している。			3			8											
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・廃棄物の分別を適切に実施し、マニフェストにて管理を行っている。 ・商品の空き段ボール、空容器を回収している。 ・年数回、定期的な倉庫整理を実施している。							11.6	12		14.1							
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・電力監視システムを導入し把握している。 ・エアコンの温度調整を随時適切に行っている。						7.3				13							
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・ハイブリッド車を一部導入済み。 ・事務所と、物流倉庫の照明をLED化済み。 ・更にハイブリッド車や電気自動車等の導入を進める。						7.2 7.3				12.4	13.3						
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・有害化学物質を特定・把握済み。 ・毒物劇物取扱責任者・危険物取扱者は法令遵守を徹底し、対象物は保管庫を完備し適切に対応している。			3.9			6.3				11.6	12.4						

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・ペーパーレス会議を導入し、全社で紙の使用量削減・環境負荷軽減に貢献している。 ・クールビズを実施している。 ・地域の清掃活動に参加し、生物多様性に理解を深めている。						6.6								15			
16		【３Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・廃棄物の分別を徹底し、リサイクルにつなげている。 ・封筒の再利用やコピー用紙の裏紙利用により、資源の有効利用を進めている。 ・使用済段ボール等を資源収集業者に提供している。									13		14.1						
17		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・使用量を把握している。 ・社員には節水を呼び掛けている。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・取得の予定はない。				3.9			6	7			12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・長野県SDGs推進企業登録制度に参加											12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・事務所と、物流センターの照明をLDE化済み。							7.2					13					
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・請求書の電子化、文具削減、紙・プラスチック代替の新素材へ変更対応済み。 ・資源保護・環境配慮型製品の積極販売（ポリエチレンラップの販売、リサイクルごみ袋の販売、刃物研ぎ器く刃物を使い捨てしないための＞）。											12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・就業規則に明記し社内に周知している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・就業規則に明記し社内に周知している。 ・会議・研修等により各種法令の遵守が徹底されている。																16	
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・特許、商標権等の知的財産権を管理している。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・業務の中で周知している。保管場所は施錠し、マイナンバーは専用ソフトで適切な管理をしている。 ・業務上知り得た情報は厳格に管理している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ (任意)			・取り扱いなし。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・一部文書により、取組み状況の確認を行っている。 また、お互いに情報交換し共に取り組んでいる。 ・顧客要望毎に各仕入メーカーへの確認を実施している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5. 9. 5～追加） ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定 （登録予定時期2025年10月を予定）				3				8	9	10							17

[illegible]

41	【社会の責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・SDGs達成に向けた経営方針に基づき取り組んでいる。 ・経営企画本部を立ち上げている。														16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			・事故、災害の緊急対応のため、BCPを策定し定期的に更新している。								9		11		13 13.1		16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			・社内研修などにより、継続的な経営幹部育成を実施している。							8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
残さず食べよう。30.10（さんまる いちまる）運動		会食、宴会時での食べ残しを減らす 1. 注文の際は適量を注文する 2. 乾杯後30分間は席を立たず料理を楽しむ 3. お開き前10分間は自分の席で料理を楽しむ		2.1										12.3 12.5		14.1	15.1		17.17
全社員のSDGsへの取り組み		私のSDGs活動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定